

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 4期連続トップ当選

＜編集発行＞

〒194-0011 町田市

成瀬が丘 1-14-12

サンホワイト E103-13

自宅 042-795-7361(fax兼用)

市議 吉田つとむ後援会

yoshidaben@gmail.com



1998年～2025年にインター ーン生合計115名参加

町田市でインターンシップを一番長く続けて
いるのが、市議会議員の吉田つとむです。町
田市役所のインターン生受け入れや、中学生
の職場体験に先行して行ってきましたもので
す。今期は第57期生を募集しています。詳細は
WEBでご覧ください。右下写真は宇都木彩名さ
ん（最多32回参加記録）左下はChatGPTで作
成したイメージ写真（榎秀隆新宿区議協力）



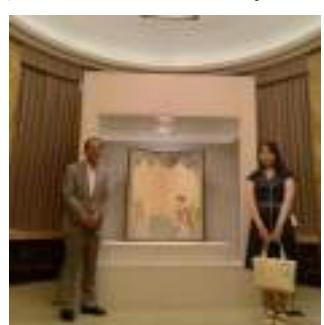
インターン参加学生の大学（院）名一覧表

青山学院大、茨木大、桜美林大、大妻女子大、大原専門、神奈川大、共立女子大、慶應大、国際基督教大学（ICU）、恵泉女学園大、駒沢大、芝浦工大、都立大、昭和女子大、上智大、白百合女子大、成蹊大、成城大、専修大、創価大、多摩美大、玉川大、津田塾大、中大、帝京短大、東海大、東大、東京学芸大、東京家政大、東京外語大、東京経済大、（旧）東京女学館大、東京都市大学、東京薬科大、東洋英和女学院大、日大、東京女子大、一橋大、フェリス女学院大、法政大、明大、明治学院大、立教大、早大、＊私立高校生2名（五十音順）＊吉田つとむは、1998年～2025年秋までの間に、大学院生を含むインターン生を合計115名（女子76名、男子39名）受け入れています。太字は3名以上の参加の大学名。

インターン体験記⑰松村エミリ

今回は、東京国立博物館の表慶館での「結MUSUBI」展と東京都庭園美術館にて「YUMEJI」展に足を運びました。東京国立博物館での展示では、カルティエと日本の関係を読み解くことのできる一次資料が数多く展示されました。日本の植物紋をモチーフとしたブローチやブローチの原案たちは、日本の文化に着想を得ていたであろうという跡を見る事ができました。西洋家紋の動物モチーフとの違いの認識が確かにあったと理解できました。

つぎに、竹久夢二展に向かい、日本的な書画から西洋的な絵画への変遷にあたる「大正ロマン」を感じることができました。代表的な美人画から、東京での初展示となった『アマリリス』など貴重な油彩画を見ることもできました。夢二の興味関心が海外に向かい、実際に外へ飛び出していった経歴は、作品に如実に反映され、アップデートされ続けていたことが、時代毎の展示により、とても分かりやすかったです。一方、農作業を行っている婦人モチーフの絵など、夢二の日本での「生活の中の美」の意識がよく分かるものもありました。様々な芸術作品を鑑賞し、大変勉強になる充実した時間を過ごすことができました。



筑波大学4年生 松村エミリ（第45期生）

注）松村さんは高校2年～大学1年で参加。
2025年3月卒業、4月よりIT企業に就職

○支持政党なしの方々の代表＝吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

○町田発の技術を駆使使用した水耕栽培メロン 全国に広がる産地を結集、まずは日本一を決めるこ

吉田つとむはどの政党にも属しない完全無所属、議会では無所属会派（3名）に参加して活動中。

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(支持政党なしの方々の代表)

吉田つとむ



好評インターンシップは、第57期生を募集案内中。

インターン体験記:酒井 優子⑥

吉田議員の元インターン生である、下津陽菜乃さんにお話を伺いました。彼女は現在、大手物流系の倉庫管理会社で仕事をされています。倉庫管理では通常、WMSという管理システムを使用するそうです。しかし、下津さんの会社では、企業独自で開発された管理システムを使う場合や、ユーザーのシステムやエクセルを使うことなどもあり、顧客のオーダーに対応する態勢を取っており、会社によってカラーが出るそうです。



東京都立大学2年生 酒井優子(第53期生)

下津さんのお話の中で、私が印象に残ったのは「サーバントリーダーシップ」という単語です。この単語は、“リーダーシップにはさまざまな種類がある”という話の中で話題に挙がりました。下津さんは学生時代、リーダーとなった経験があるそうなのですが、支配型のリーダーではなく、皆からの意見を取り入れるような形のリーダーを目指したそうです。そのリーダーの形こそが、「サーバントリーダーシップ」でした。こういった形のリーダーは、他者からの意見をもらいながら、一緒に行動することを目指します。そうすることで、リーダーだけでなく、全員が自動的に行動することができるようになるそうです。私は今まで、自身にはリーダーの適正はないと考えていましたが、リーダーにはさまざまな形があるという話を聞き、考えを改める良い機会になりました。今回話題に挙がった“サーバントリーダーシップ”以外にも、さまざまな形のリーダーはあるのだと思います。すると、大半の人は何かしらの形のリーダーの適正を持っているのではないかと思いました。

インターン体験記⑤-2 岡田愛海

アーティゾン美術館（旧ブリヂストン美術館）では、「彼女たちのアボリジナルアート オーストラリア現代美術」展を鑑賞しました。



今回のレポートでは、作品を展示している展示会場の作り方に注目して書きます。アボリジナルとはオーストラリア大陸の先住民達のこと指します。そのアボリジナルのアーティストが制作した作品を展示している今展覧会では、静けさとゆったりとした雰囲気を保つ展示形式になっていました。全体的に照明を落とし、作品との間をゆったり空けることで、自然と会場を静寂に包んでいました。また、ライトを作品へピンポイントに当てることで、視線を誘導すると同時に、神秘的な雰囲気を纏わせることに成功していました。出展されたアートは自然と繋がりを感じるものが多くあり、アボリジナルの住む場所から生み出される静寂というものを意識して、展示会場を考案したのではないかと、全体を通して感じました。作品を最大限活かすのは展示空間です。展示場所やライトニングの調整次第で、美術作品は全く違う表情になります。展示会場とは作品に込められた様々な思いを鑑賞者に感じさせる大事な舞台装置であり、情報媒体でもあると私は考えています。

一見広報物とは関係ないように見えても、誰かに何かを伝える、その役目を展示会場は担っているのです。展覧会に行った際、是非とも展示空間も意識して見て頂きたいと思い、今回のレポートを作成いたしました。

横浜美術大学4年生 岡田 愛海(第56期生)

◎インターンシップの単位制については、昭和女子大学とはその指定プログラムに入っています。他の大学の場合は、特別に認定をもらえる場合を除いて、任意の参加となります。

◎元インターン生には弁護士3名、医師1名、管理栄養、議員2名、教職者は複数です。

インターンシップで若者育成の貢献

町田市議・完全無所属・良識ある保守

吉田つとむ



好評インターンシップは、欠かさずに続いている

インターン体験記③渡部 結衣

自由民権資料館を訪ね、町田の自由民権運動を学ぶ

今回のインターンシップでは、町田市立自由民権資料館を訪問する機会を得ました。館内には自由民権運動に関する多くの史料が展示され、近代の日本全体や、町田の民主主義の歩みを具体的に学ぶことができました。特に印象に残ったことは、五日市憲法の実際の草案を直接目にしたことです。五日市憲法とは、日本国憲法に先立って地域住民が作成した憲法草案で、教科書でしか見ることができなかった史料を直接見ることができ、とても感動しました。

また、町田における自由民権運動が全国的に見ても非常に組織化されていたことを知り、町田の地域住民が主体的に政治や社会の変革に関わろうとしていた姿勢には、大変驚きました。さらに、演説における身振りや手振りを解説した指南書である、天民居士『自由演舌言論軌範』が刊行されていたなどのことから、当時の社会で演説がどれほど大きな影響力を持ち、人々の関心を集めていたのかを実感することができました。

今回の訪問を通じて、自由民権運動の歴史を単なる知識としてではなく、町田という地域に根差して考えることが出来たのが、大きな学びとなりました。今後は、この経験を活かし、歴史的事実を単に知識として捉えるだけでなく、地域社会にどのような影響をもたらすのかを考えながら学びを深めていきたいと思いました。



大妻女子大学1年生 渡部 結衣（第56期生）

◎吉田つとむのインターンシップは、参加者との個別対応が特徴です。

◎吉田つとむのインターンシップは、社会人になった先輩インターン生との直線面談が大好評です。

◎社会体験のメニューが中心のプログラムです。政治家コースは別途メニューを提供します。

インターン体験記⑦柴田 真衣

東京ビックサイトでフード展を見学

私はまだ学生なので社会にどのような会社や企業があるのか知らずに生きてきました。しかし、今回東京ビックサイトの展示会に参加することで数多くの企業の展示を見る事ができとても勉強になりました。food 展ということで食品に関わる商品や他県の名産の紹介など様々な物がありました。私は何かを発表したり説明するのがとても苦手なのですが企業の方は全員トークが上手く、聞いてるとその商品に興味を持つてしまうほどの説明で驚きました。一通り見たのですが会場が広いため見るだけで体力を持っていかれました。



昭和女子大学3年生 柴田麻衣（大52期生）

しかし、就活に向けてのアドバイスや貴重なお話などさせてもらい自分の中の社会に対する価値観が大きく変わった事ができました。

普段、お台場周辺はあまり行かないでビックサイトがここまで大きいものだと思いませんでした。また、海なし県の栃木に住んでいるということもあり、海の近くに来れたことが嬉しかったです。最後に動くガンダムまで見れて良い思い出と経験になりました。

良識ある保守主義・情報公開の伝統

吉田つとむ

町田市議会議員
会派「無所属」に所属
吉田 つとむ
自宅 042-795-7361(TEL&FAX)
yoshidaben@gmail.com



インターン体験記①-1 佐々木 瑛

小学校のデジタル教科書の進展動向を学ぶ

教科書会社を訪問し、小学校のデジタル教科書を見て頂きました。デジタル教科書とは、教科書の内容がそのままICT端末に映し出されているものです。私が学んだデジタル教科書のメリットを二つ、ここで紹介します。

まず1つ目は誰もが読める教科書になることです。デジタル教科書を用いることで、画面の色を反転する、読み上げ機能を使う、文字の大きさを変えるなどの、教科書を自分なりのわかりやすい形に変えることができます。2つ目は先生が生徒の回答を集め個々の答えを1度に見ることが出来ることです。これにより、生徒一人一人の出来具合を効率的に見ることが可能になります。そのため、教師が子供の実力をより把握しやすくなります。

しかし、デジタル教科書には課題もあります。1つ挙げるならICT端末を用いて教育を受けていない教師が、ICT機器を使って上手く授業をする事の難しさがあります。教員が最新技術を迅速に使いこなし、学びの効率化を促進させるためにも、教員向けのICT機器活用の方法を学ぶ機会が今後さらに増えて欲しいと感じました。



東京学芸大学2年生 佐々木 瑛(第53期生)

インターン体験記③-3 森田瑛斗

ユーグレナの出雲充代表取締役社長を訪ね、本社で面談

ユーグレナはミドリムシを用いた食品や化粧品及びバイオ燃料の開発・製造を行っている企業で東証一部(プライム市場)にも上場しています。

出雲社長は吉田議員のインターンシップの一期生であると同時に、私の中高大の先輩でもあり、非常に縁を感じております。当日もトレードマークの緑色のネクタイをつけられていたのが印象的でした。



東京大学医学部6年 森田瑛斗(第55期生)

お話の中で出雲社長は起業の魅力について熱弁されていました。どのような企業が成功するのか伺ったところ、スタート地点は様々あるものの、成功する起業に共通しているのは人のために活動しているという点だとおっしゃっていました。自分なりの解釈ではありますが、そういう視点があるからこそ社会的にニーズのあるモノやサービスを生み出すことが出来、価値のある企業になっていくのだと思います。ユーグレナもミドリムシを用いて栄養や燃料といった社会的ニーズの高いものに取り組んでいるからこそ高く評価されているのだと思います。

また最後に出雲社長に現在の目標を伺ったところ、①バングラデシュの子供の栄養失調を無くす事、②ミドリムシでバイオ燃料を作ることの二点を挙げられました。これを5年で成し遂げると力強くおっしゃっていたのが非常に印象的でした。



◎元インターン生の就職先では、金融や商社などの一般企業が大半です。理科系に限らず、男女ともIT系企業の就職も増加しています。上記の出雲充氏(1部上場: プライム市場企業ユーグレナ社長)をはじめ、自分で起業する人材も複数出ています。

◎森田瑛斗さんは医師国家試験に合格し、令和7年4/1から研修医となり社会人として活躍。